

令和4年度 木津町区 自主防災大会実施のご報告

過日の令和4年 8月28日(日)の午前9時30分～正午までの午前中に防災大会を実施いたしました。

総勢70名という多くの参加を賜りましたお陰で、盛況で中身の濃い充実した意義深い大会となりましたことに役員一同感謝いたしております。

取り組みました内容は、午前9時30分～11:00分まで木津川市の危機管理課の池田課長補佐、松田主任専門員の2名による配付資料に基づき『木津川市の防災に対する取組』と題して下記のとおり講演を賜りました。

また、午前11時から相楽中部消防署の署員の皆様に実演を賜り、救命処置の手順(心肺蘇生とAEDの使用手順)の模範演技と土嚢の積み方の実演指導を見学し、消火器の使用手順により参加者全員、使用の体験をしていただきました。

後日には、参加者から「単に資料を読むだけでは身につかないが、参加した甲斐あって勉強になった。」との嬉しいお声もいただきました。「光栄です。」

私自身も見聞を広めることができ、充実した大会であったと感じています。

午前9時30分～講演：『木津川市の防災に関する取り組みについて』

説明内容：1 木津川市の主な災害発生状況

- ・ 南山城水害 ・ 平成25年の台風18号による木津川市内の浸水被害
(小川・反田川流域)
- ・ 平成29年の台風21号による木津川市内の浸水被害(下川原地域内)

2 木津川市の取り組み

- ① 自分のいるところを知る。➡木津川市総合防災マップ(保存版)の確認
- ② まるごとまちごとハザードマップ

市役所前及びその周辺、そして木津町区内の合計30か所に防災意識の向上に、地域で想定される浸水深の高さに合わせた青色のラッピングを施した。

- ③ 樋門閉鎖時の排水能力の向上

合同樋門閉鎖に関わる揚機場での現地据付ポンプ430m³/分の能力

3 木津町区のタイムラインについて

“”自分の命は、自分で守る。私たちの地域は、私たちが守る。”

『地区タイムライン』とは、[いつ][どこえ][どのように]避難するのかを予め時系列で整理して、決めておく地域の防災計画

- ・ 木津川市防災情報メールの登録について
- ・ 木津川市 LINE 公式アカウントについて

4 非難について考えてみよう！

避難の実態

- ・避難率：土砂災害警戒区域でも 22.1%
- ・避難しなかった理由：『災害に遭うと思わなかった』
- ・土砂災害警戒区域の認識：半数(認識不足)
- ・逆機能となる災害経験は、要注意(軽んじてはならない)

午前 11 時～救命処置の手順→土嚢の積み方・消火器の使用指導→消火器の使用体験

場面に直面した場合、AED の格納設置場所を知っておくと共に消防署に連絡

以上

お世話になりました関係者の皆様、ありがとうございました。

令和 4 年 9 月 5 日

木津町区 自主防災会会長

奈良 由雄

社協木津町区支部長 駒井 幸夫



